

事業番号	事業名	内容	対象外項目番号
	生活排水処理検討事業		
1	合併処理浄化槽設置整備事業	小型合併処理浄化槽設置	-
	公害防止対策事業		
2	環境調査事業	環境調査委託の執行事務、公害苦情相談事務	-
	自然環境保全事業		
3	自然環境保護事業	首都圏自然歩道維持管理、自然保護奨励金交付事務、海岸乗入れ禁止条例関係事務	①
4	野生鳥獣・愛玩動物対策事業	傷病鳥獣保護、有害鳥獣対策、害虫駆除、猫不妊去勢手術費補助金交付事務、鳥獣苦情相談事務	-
5	畜犬登録及び狂犬病予防事業	畜犬登録・相談事務、定期集合注射の実施	-
	美化推進事業		
6	美化キャンペーン事業	町ぐるみ美化キャンペーンの実施	-
7	不法投棄防止対策事業	不法投棄防止の啓発、不法投棄物の撤去	-
8	海岸美化等推進事業	海岸美化清掃負担金、美化推進団体補助金交付事務	①
	環境対策推進事業		
9	環境基本計画事業	環境基本計画実施計画の策定・進行管理、環境審議会の開催	②
10	美しいまちづくり条例啓発事業	美しいまちづくり条例の啓発キャンペーンの実施	-
11	省エネルギー推進事業	住宅用スマートエネルギー設備導入費補助金交付事務、みどりのカーテンの実施、里山の保全	-
12	環境事務事業	環境担当庶務等	②
	ごみの分別及び減量化推進事業		
13	減量化資源化普及啓発事業	コンポスター、電動生ごみ処理機普及啓発事務、廃棄物減量化等推進員運営事務、ごみの分別収集方法の普及啓発事務	-
14	ごみ処理広域化運営事業	ごみ処理広域化推進会議・検討部会・事務連絡会議、施設運営費負担金支払事務	①
15	ごみ処理施設等解体事業	ごみ処理施設等解体工事 解体工事設計・施工管理委託	④
16	ごみ処理広域化整備事業	1市2町ごみ処理広域化施設整備費への負担金支払事務	③
17	(仮称)リサイクルセンター整備事業	(仮称)リサイクルセンター整備に伴う各種調査・工事発注	③

予算事業名	生活排水処理検討事業	シート作成日	平成27年9月11日
		担当課名	環境課
細分事業名	合併処理浄化槽設置整備事業	係名	環境・エネルギー係
		事業番号	1
		事業開始年度	昭和60年度

## 1.総合計画上の位置づけ

章	第3章 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
項	第2項 良好な地域環境の形成	認定番号	—
節	第2節 生活排水	事業名	—

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱				
個別計画等	生活排水処理基本計画				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	生活排水による公共用水域の水質汚濁の進行を防止し、生活環境の保全を図る。				
対象 (誰を・何を)	公共下水道整備対象区域外に居住を有する住民				
内容	単独処理浄化槽または、くみ取り式便槽から合併処理浄化槽に設置替えをする者に対して、設置費用の一部を補助する				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	924	894	1,184
	国庫支出金	千円	308	28	308
	県支出金	千円	168	168	168
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	448	698	708
	職員人数 (概算職員数)	人	0.08	0.08	0.08
	人件費計 (b)	千円	490	490	478
総事業費 (a)+(b)	千円	1,414	1,384	1,662	
事業費内訳	<input type="checkbox"/> 県合併処理浄化槽普及促進協議会負担金 12千円 <input type="checkbox"/> 合併処理浄化槽設置整備事業補助金 1,172千円				
H 27 年度					

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 補助対象汚水処理場	件	1	1	—
	② 補助対象世帯数	件	358	357	357
活動指標 (活動量)	① —	—	—	—	—
	② 補助件数	件	1	1	3
成果指標 (達成度等)	① 河川のBOD値	mg/l	3.0	3.0	3.0
	② 延べ補助件数	件	16	17	20

#### 4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 水質保全を図る観点からおおむね妥当である。
	・実施手段は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 公共下水道整備区域外における公共水域の水質保全を図る目的から妥当である。
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input checked="" type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 補助実績が少ない。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 補助実績が少ない。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他 件数を向上させるため、平成24年度より補助額を増額している。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	
		評価理由 補助額を増額してからは、毎年、実績がある。	

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	合併処理浄化槽設置整備事業補助金の普及啓発を図る。
② 平成27年度に着手する事項	なし
③ 平成28年度に着手する事項	なし

#### 6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月15日

町広報、ホームページにより補助制度の普及啓発に努め、単独浄化槽から合併浄化槽への転換を図る。
--

予算事業名	公害防止対策事業	シート作成日	平成27年9月11日
		担当課名	環境課
細分事業名	環境調査事業	係名	環境・エネルギー係
		事業番号	2
		事業開始年度	不明

## 1.総合計画上の位置づけ

章	第3章 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
項	第2項 良好な地域環境の形成	認定番号	—
節	第1節 環境保全	事業名	—

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	神奈川県生活環境の保全等に関する条例 ほか				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	公害のない快適な住みよい生活環境の保全を図る。				
対象 (誰を・何を)	町内全域、全町民				
内容	<input type="radio"/> 町内河川や海域、大気などの環境調査を実施する。 <input type="radio"/> 大気汚染や騒音などの生活環境に係る苦情に対する相談、現地調査による指導などを行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	2,527	2,646	2,699
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	2,527	2,646	2,699
	職員人数 (概算職員数)	人	0.11	0.11	0.19
	人件費計 (b)	千円	674	674	1,134
	総事業費 (a)+(b)	千円	3,201	3,320	3,833
事業費内訳	<input type="radio"/> 環境調査委託料 2,699千円				
H 27 年度					

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町内河川等の調査地点	地点	23	23	23
	② 苦情件数	件	17	17	15
活動指標 (活動量)	① 測定延べ回数	回	21	21	21
	② 苦情件数	件	17	17	15
成果指標 (達成度等)	① 測定結果 (環境基準達成状況)	—	一部未達	一部未達	達成
	② 苦情対応件数	件	17	17	15

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町が、知識、技術、測定機器を兼ね備えた専門業者に委託することは妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	環境調査は知識、技術、測定機器を兼ね備えた専門業者に委託することが妥当である。
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	町内における環境に関する情報を得ることができている。 苦情への対応により、生活環境の保全を図ることができている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	最少経費で必要な測定を行っている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	最少経費で必要な測定を行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	行政として必要な情報を得ることができている。
担当課による 評価			

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	なし
② 平成27年度に着手する事項	なし
③ 平成28年度に着手する事項	なし

#### 6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月15日

引き続き、町内における環境情報を得るための環境調査を行うとともに、生活苦情等への対応により生活環境の保全に努めていく。

予算事業名	自然環境保全事業	シート作成日	平成27年9月11日
		担当課名	環境課
細分事業名	野生鳥獣・愛玩動物対策事業	係名	環境・エネルギー係
		事業番号	4
		事業開始年度	不明

1.総合計画上の位置づけ

章	第3章 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
項	第1項 身近な自然環境空間の形成	認定番号	—
節	第1節 自然環境	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律、動物の愛護及び管理に関する法律 ほか				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	野生鳥獣や愛玩動物による生活被害を防止し、生活環境の保全を図るとともに、傷病野生鳥獣の捕獲保護を行い、野生へ復帰させる。				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小型有害鳥獣による生活被害への相談に対して現地調査を行い、小型有害鳥獣捕獲器の貸出しなどの防止対策を図る。</li> <li>○ 飼い主のいない猫による生活被害の防止と繁殖を抑制するため、飼い主のいない猫の不妊去勢手術に要する費用の一部を補助する。</li> <li>○ 危険害虫による生活被害を防止するため、危険害虫駆除に要する費用の一部を補助する。</li> <li>○ 傷病野生鳥獣の捕獲。保護を行い、野生へ復帰させる。</li> </ul>				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	1,498	1,597	1,794
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,498	1,597	1,794
	職員人数 (概算職員数)	人	0.43	0.36	0.53
	人件費計 (b)	千円	2,635	2,206	3,164
総事業費 (a)+(b)	千円	4,133	3,803	4,958	
事業費内訳 H 27 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 有害鳥獣被害防止消耗品費 85千円</li> <li>○ 有害鳥獣駆除手数料 455千円</li> <li>○ 飼い主のいない猫用捕獲器購入費 24千円</li> <li>○ 飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金 330千円</li> <li>○ 危険害虫駆除費補助金 550千円</li> <li>○ 傷病野生鳥獣保護交付金 350千円</li> </ul>				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 小型有害鳥獣捕獲許可件数	件	33	37	35
	② 傷病野生鳥獣の捕獲・保護件数	件	576	503	500
活動指標 (活動量)	① 小型有害鳥獣捕獲器貸出し件数	件	33	37	35
	② 傷病野生鳥獣の治療件数	件	576	503	500
成果指標 (達成度等)	① 小型有害鳥獣捕獲・駆除件数	件	14	32	25
	② 野生への復帰件数	件	265	221	250

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	・実施主体は妥当か 理由 生活環境の保全という観点から妥当である。 動物愛護という観点から妥当である。
妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	・実施手段は妥当か 理由 有害鳥獣駆除については、駆除業者へ委託する手法も考えられる。 傷病野生鳥獣の保護については、専門の獣医師に依頼しているので妥当である。 猫の不妊去勢手術については、ボランティアの協力を得て実施しているためおおむね妥当である。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	・意図した成果が得られているか 理由 有害鳥獣駆除については、駆除件数の実績を上げている。傷病野生鳥獣の保護についても保護した4割を自然に復帰させているので、成果は得られている。
効率性	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	・コストに対して効率的か 理由 限られた予算の中で有害鳥獣による生活被害の防止が図られている。 指定獣医師に交付している交付金の中で実施している。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他
	・コストの削減等を図ったか 理由 有害鳥獣の生息数が増加していることもあり、現状を維持したい。傷病野生鳥獣の発生件数がほぼ横ばいのため、現状を維持したい。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
評価理由 有害鳥獣による生活被害の防止、また、鳥獣愛護の観点から鳥獣の保護に寄与している。	

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点
傷病野生鳥獣対策については、町指定獣医師のみではなく町内開業獣医師の協力が得られれば、傷病鳥獣の生存率の向上を図ることも可能である。 有害鳥獣（イノシシ）については、産業観光課と共催で、専門家を招いて講習会を実施し、防除方法を学び実践中である。
② 平成27年度に着手する事項
なし
③ 平成28年度に着手する事項
有害鳥獣（イノシシ）については、専門員の指導により、適正な環境整備をレクチャーされたため、まずは、地域住民と協働し、草刈り、剪定を継続していく。

#### 6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月15日

有害鳥獣（イノシシ）対策については、平成27年度の講習会等の効果を踏まえ、ひそみ場やえさ場をなくしイノシシを寄せつけない環境整備を行っていく。  
 また、引き続き飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の助成を行うとともに、地域猫活動についての周知を図っていく。  
 野生傷病鳥獣の捕獲・保護を行い、野生復帰率の向上に努めていく。



予算事業名	畜犬登録及び狂犬病予防事業	シート作成日	平成27年9月11日
		担当課名	環境課
細分事業名	—	係名	環境・エネルギー係
		事業番号	5
		事業開始年度	不明

## 1.総合計画上の位置づけ

章	第3章 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
項	第1項 身近な自然環境空間の形成	認定番号	—
節	第1節 自然環境	事業名	—

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	狂犬予防法				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	狂犬病の発生を防止するため、畜犬登録、狂犬病予防注射接種の促進を図る。				
対象 (誰を・何を)	町内の畜犬及び飼い主				
内容	狂犬予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射接種状況の管理を行い、鑑札及び注射済票の交付を行う。また、予防注射未実施の畜犬の飼い主へ予防注射接種の指導（督促）を行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
		単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
事業費	直接事業費 (a)	千円	546	382	634
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	546	382	634
	職員人数 (概算職員数)	人	0.48	0.44	0.54
	人件費計 (b)	千円	2,941	2,696	3,223
総事業費 (a)+(b)	千円	3,487	3,078	3,857	
事業費内訳	<input type="checkbox"/> 担当者会議旅費 3千円 <input type="checkbox"/> 獣医師会登録・注射促進協力事業委託料 189千円 <input type="checkbox"/> 鑑札、注射済票等消耗品費 84千円 <input type="checkbox"/> 定期集合注射通知等印刷製本費 208千円				
H 27 年度					

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 畜犬登録頭数	頭	2,252	2,234	2,230
	② —		—	—	—
活動指標 (活動量)	① 予防注射実施頭数	頭	1,929	1,909	2,007
	② —		—	—	—
成果指標 (達成度等)	① 予防注射頭数の割合	%	85.66	85.45	90.00
	② —		—	—	—



#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	狂犬予防法に基づく事業であり妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	狂犬病予防法に基づく事業であり妥当である。
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	狂犬病は発生していないため、成果は得られている。 鑑札や注射済票により迷い犬の飼い主を特定できている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	犬の登録手数料及び注射済票交付手数料により歳入が確保されている。 畜犬登録台帳管理がシステム化されている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	犬の登録手数料及び注射済票交付手数料は県内統一した金額に設定されている。また、集合注射における注射料金についても平塚保健福祉事務所管内で統一されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	狂犬予防法に基づき、継続する必要がある。
担当課による評価			

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	なし
② 平成27年度に着手する事項	なし
③ 平成28年度に着手する事項	なし

#### 6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成28年2月15日

狂犬病の発生を防止するため、引き続き定期集合注射の実施を促進していくとともに、狂犬病予防注射未実施者への督促状の送付などにより、実施を促していく。  
 ※消費税率引上げを見据え、手数料及び注射料金の見直しの検討を行っていく。

予算事業名	美化推進事業	シート作成日	平成27年9月11日
		担当課名	環境課
細分事業名	美化キャンペーン事業	係名	環境・エネルギー係
		事業番号	6
		事業開始年度	昭和51年

## 1.総合計画上の位置づけ

章	第3章 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
項	第2項 良好な地域環境の形成	認定番号	—
節	第1節 環境保全	事業名	—

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町美しいまちづくり条例				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	美化意識の啓発と高揚を図り、清潔で住みよい環境を確保する。				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	美化意識の啓発と高揚を図ることを目的に、町内全域で町ぐるみ美化キャンペーンを実施する。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	320	332	532
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	320	332	532
	職員人数 (概算職員数)	人	0.18	0.21	0.46
	人件費計 (b)	千円	1,103	1,287	2,746
総事業費 (a)+(b)	千円	1,423	1,619	3,278	
事業費内訳	<input type="checkbox"/> 町ぐるみ美化キャンペーン消耗品費 377千円 <input type="checkbox"/> 町ぐるみ美化キャンペーン参加者傷害保険料 155千円				
H 27 年度					

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 全町民	人	32,625	32,523	32,377
	② —		—	—	—
活動指標 (活動量)	① 美化キャンペーン収集ごみ量	kg	16,600	11,690	13,850
	② —		—	—	—
成果指標 (達成度等)	① 美化キャンペーン参加人数	人	4,711	4,623	4,133
	② —		—	—	—

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町民が主体となり、事業者と行政とが協働で実施している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町民が主体となりごみを拾い、ごみの回収等を委託業者、行政で実施し、分担協働し実施ができています。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	参加人数、ごみの収集量が減少傾向にある。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	各地区と町内団体、町内清掃事業者の協力により実施している。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	ごみ袋、清掃道具の購入費用と参加者の傷害保険料のみで実施している事業であり、これ以上の経費削減は見込めない。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	町内の地区、団体、事業者、行政が協働で実施する事業である。年間行事として定着しており、環境意識の啓発、高揚を図る事業として必要である。

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	年間行事としての定着はあるが、行政が清掃区域を指定しているため、自宅付近の身近な場所の清掃ができない。また近年、参加者が減少している。
② 平成27年度に着手する事項	清掃区域の見直しや開催方法の検討を行う。
③ 平成28年度に着手する事項	平成27年度中に開催方法を見直し、新たな形での清掃活動を実施する。

#### 6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月26日

<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃区域に適さない一部の清掃区域を変更する。</li> <li>・事務の合理化を図るため、集合場所旗と清掃区域看板の設置を廃止する。</li> <li>・巡回方法と職員配置の見直しを行う。</li> </ul>
---

予算事業名	美化推進事業	シート作成日	平成27年9月11日
		担当課名	環境課
細分事業名	不法投棄防止対策事業	係名	環境・エネルギー係
		事業番号	7
		事業開始年度	不明

## 1.総合計画上の位置づけ

章	第3章 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
項	第2項 良好な地域環境の形成	認定番号	—
節	第1節 環境保全	事業名	—

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	不法投棄を防止し、清潔で住みよいまちづくりを推進する。				
対象 (誰を・何を)	町内全域				
内容	町内全域を巡視し、不法投棄ごみを回収する。町民からの通報があった場合も同様に回収を行う。また、不法投棄が頻繁に行われる場所には注意看板を設置し、土地所有者が明確な場合は、土地所有者に防止策の対応をお願いする。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	31	27	30
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	31	27	30
	職員人数 (概算職員数)	人	0.11	0.15	0.12
	人件費計 (b)	千円	674	919	716
総事業費 (a)+(b)	千円	705	946	746	
事業費内訳	○ 不法投棄ごみ (処理困難物) 処分手数料 30千円				
H 27 年度					

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町内全域	km <sup>2</sup>	17.23	17.23	17.23
	② —		—	—	—
活動指標 (活動量)	① 不法投棄巡視・撤去回数	回	34	29	25
	② —		—	—	—
成果指標 (達成度等)	① 不法投棄ごみ撤去量	kg	1,965	3,340	2,000
	② —		—	—	—

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	行政と警察との連携により実施しており妥当である。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	不法投棄が頻繁に行われている土地への見回りなど、実施手段としてはおおむね妥当であるが、所有者の防御策が徹底されていない部分が課題。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input checked="" type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	不法投棄の件数やごみ量がほぼ横ばいの状況が続いている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	巡視により不法投棄箇所を把握し、なるべく一斉に回収するようにしている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	巡視により不法投棄箇所を把握し、なるべく一斉に回収するようにしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	不法投棄箇所にはある程度、傾向があるため、地道な見回りが必要。
担当課による 評価			

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	不法投棄が頻繁になされる仮称の土地所有者に遠方の方が多く、防止策が講じにくい。 神奈川県や警察と連携を強化し、不法投棄防止看板の設置等による不法投棄の抑止に努めたい。
② 平成27年度に着手する事項	なし
③ 平成28年度に着手する事項	不法投棄が頻繁に行われる箇所については、不法投棄の抑止に繋がる監視カメラ（ダミーを含む）などの設置が必要である。 定期的に見回りをし、見回りの際は、公用車に不法投棄パトロールの掲示をする方が効果的と考える。

#### 6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成28年2月15日

引き続き、神奈川県や警察と連携したパトロールの実施を行うとともに、見回りの際は、公用車に不法投棄パトロール中の掲示を実施していく。  
※併せて二次的な被害を防止するため、不法投棄物の迅速な撤去を行っていく。

予算事業名	環境対策推進事業	シート作成日	平成27年9月11日
		担当課名	環境課
細分事業名	美しいまちづくり条例啓発事業	係名	環境・エネルギー係
		事業番号	10
		事業開始年度	平成24年度

## 1.総合計画上の位置づけ

章	第3章 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
項	第2項 良好な地域環境の形成	認定番号	—
節	第1節 環境保全	事業名	—

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町美しいまちづくり条例				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	「大磯町美しいまちづくり条例」の普及啓発をすることにより、地域の環境美化の推進と清潔でさわやかな生活環境を確保する。				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	町主催のイベント会場などにおいて、啓発物品の配布等による啓発活動を行い、町民のみならず町を訪れた方に対しても条例の周知を図る。また、町民に対しては、広報や全戸配布のチラシによる周知を行う。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	238	143	202
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	238	143	202
	職員人数 (概算職員数)	人	0.10	0.15	0.20
	人件費計 (b)	千円	613	919	1,194
総事業費 (a)+(b)	千円	851	1,062	1,396	
事業費内訳	<input type="checkbox"/> 美しいまちづくり条例啓発用消耗品費 110千円 <input type="checkbox"/> 美しいまちづくり条例啓発周知チラシ印刷製本費 92千円				
H 27 年度					

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 全町民	人	32,625	32,523	32,377
	②		—	—	—
活動指標 (活動量)	① 啓発周知回数	回	6	5	5
	②		—	—	—
成果指標 (達成度等)	① ごみのポイ捨て等の苦情	回	17	17	10
	②		—	—	—

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町条例の啓発事業のため妥当である
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	周知の手段としては妥当であるが、他の手段も検討する必要がある。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	ごみのポイ捨てや、ペットのふんの放置等の苦情は減ってきている。 海水浴場の喫煙の禁止については、トラブルもなく来場者に浸透してきている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	ごみのポイ捨てや、ペットのふんの放置等の苦情は減ってきている。 海水浴場の喫煙の禁止については、トラブルもなく来場者に浸透してきている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	必要最小限の予算計上と支出に努めている。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	現在は啓発物品の配布、町広報や全戸配布のチラシなどにより周知しているが、他の手段も検討する必要がある。
担当課による 評価			

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	効率的に多くの人に周知啓発する方法を検討する必要がある。
② 平成27年度に着手する事項	なし
③ 平成28年度に着手する事項	なし

#### 6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月15日

町広報やホームページでの条例の周知啓発を行う。また、町外の方が参加するイベント等における啓発物品の配布により、町内外への周知に努めていくとともに、駅前での啓発活動を実施する。
---



予算事業名	環境対策推進事業	シート作成日	平成27年9月11日
		担当課名	環境課
細分事業名	省エネルギー推進事業	係名	環境・エネルギー係
		事業番号	11
		事業開始年度	平成21年度

## 1.総合計画上の位置づけ

章	第3章 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
項	第2項 良好な地域環境の形成	認定番号	—
節	第1節 環境保全	事業名	—

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例 大磯町住宅用スマートエネルギー設備導入費補助金交付要綱				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	再生可能エネルギーなどの普及啓発により、再生可能エネルギー機器の導入を促進し、省エネルギー対策、地球温暖化防止対策などの環境保全意識の高揚を図る。				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	地球温暖化防止や環境保全意識の高揚を図るため、住民用スマートエネルギー設備を設置する町民に対し、設備設置に要する経費の一部を補助する。 公共施設において、環境保全意識の高揚を図るため、緑のカーテンを実施する。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,707	1,432	2,056
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,707	1,432	2,056
	職員人数 (概算職員数)	人	0.14	0.24	0.61
	人件費計 (b)	千円	858	1,471	3,641
総事業費 (a)+(b)	千円	2,565	2,903	5,697	
事業費内訳	<input type="checkbox"/> みどりのカーテン消耗品 26千円 <input type="checkbox"/> 住宅用スマートエネルギー設備導入費補助金 2,030千円				
H 27 年度					

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町内全世帯	世帯	12,790	12,790	12,898
	② —	—	—	—	—
活動指標 (活動量)	① スマートエネルギー設備補助件数	件	35(太陽光設置のみ)	22(太陽光設置のみ)	25(太陽光設置のみ)
	② —	—	—	—	—
成果指標 (達成度等)	① スマートエネルギー設備補助件数(累計)	件	227(太陽光発電設備のみ)	249(太陽光発電設備のみ)	274
	② —	—	—	—	—

#### 4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 省エネルギーの推進による地球温暖化対策、再生可能エネルギーの普及という観点から妥当である。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 住宅用スマートエネルギー設備の普及への取組として妥当である。
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input checked="" type="checkbox"/> その他 補助制度の内容を変更したため、まだ効果は表れていない。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 省エネルギーや二酸化炭素排出削減に寄与している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 実績を勘案した予算を計上しコストの削減を図った。
	担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	
		評価理由 国・県の動向を見ると、補助内容がシフトしてきているため、普及状況を見極め内容を見直す必要がある。	

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	実績件数が減少傾向である。国・県の動向を見ると、補助内容がシフトしてきているため、普及状況を見極め内容を見直す必要があると思うが、普及には、ある程度の期間、補助は必要と考える。
② 平成27年度に着手する事項	なし
③ 平成28年度に着手する事項	申請件数の実績から補助内容の検討を行う。

#### 6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月15日

引き続き、住宅用スマートエネルギー設備導入補助制度の推進を図っていく。また、省エネルギー・再生可能エネルギーについての環境学習を開催していく。
---

予算事業名	ごみの分別及び減量化推進事業	シート作成日	平成27年9月7日
		担当課名	環境課
細分事業名	減量化資源化普及啓発事業	係名	廃棄物係
		事業番号	13
		事業開始年度	不明

## 1.総合計画上の位置づけ

章	第3章 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
項	第3項 循環型地域社会の形成	認定番号	—
節	第1節 廃棄物処理	事業名	—

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	ごみの排出抑制と資源化を推進するとともに、ごみの分別の周知を図る。				
対象 (誰を・何を)	全町民、町内事業者				
内容	<p>○生ごみコンポスト容器、電動生ごみ処理機等の普及促進を図る。          ○おおいそ廃棄物減量化等推進員を活用し、地域でのごみの減量化・資源化策及びごみの分別周知を啓発する。          ○集団回収を推進する。          ○広報等を通じた普及啓発を図る。</p>				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	3,903	10,135	6,324
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	60	54	130
	一般財源	千円	3,843	10,081	6,194
	職員人数 (概算職員数)	人	0.08	0.28	1.10
	人件費計 (b)	千円	490	1,716	6,566
総事業費 (a)+(b)	千円	4,393	11,851	12,890	
事業費内訳	<p>○ コンポスト容器購入費ほか 661千円    ○ 廃棄物減量化等推進員視察時バス借上料 91千円          ○ ごみ収集カレンダーほか印刷製本費 355千円    ○ 電動生ごみ処理機購入費補助金 3,000千円          ○ コンポスト容器等購入者アンケート郵送料 30千円    ○ 資源回収協力交付金 826千円          ○ 廃棄物減量化等推進員傷害保険料 28千円    ○ 不燃物分別地区協力費交付金 894千円</p>				
H 27 年度					

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① ごみの総排出量	t	11,646	10,597	11,345
	②				
活動指標 (活動量)	① コンポスト容器・電動生ごみ処理機の普及基数	基	32/8	38/126	60/50
	② 集団回収資源化量	t	210	249	249
成果指標 (達成度等)	① 1人1日当たりのごみ排出量	g	982	903	903
	② 資源化率	%	30.4	34.6	34.6

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・実施主体は妥当か 行政とおおいそ廃棄物減量化等推進員（地区）が協働で実施している。
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・実施手段は妥当か 町広報やおおいそ廃棄物減量化等推進員の活用により、普及啓発を進めている。キエーロ、ミラコンポのあっせん販売など、新たなごみ減量化策を取り入れ、普及啓発に努めている。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・意図した成果が得られているか 生ごみコンポスト容器、電動生ごみ処理機の普及を進めることができ、ごみの減量に繋がっている。
効率性	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・コストに対して効率的か ごみの減量・資源化が図られている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他
	理由 ・コストの削減等を図ったか 電動生ごみ処理機購入費補助金の交付件数を見直したため、予算額が減少した。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
<b>評価理由</b> ごみの減量化・資源化手段の多様化や、補助制度の見直しが必要である。	

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点
ごみ処理に係る費用やエネルギーの削減を図るため、様々なごみの減量化・資源化の手段を町民へ紹介し、おおいそ廃棄物減量化等推進員との協働により、更なる減量化・資源化に努めていく。
② 平成27年度に着手する事項
生ごみの減量化を進めるため、コンポスター、電動生ごみ処理機以外の新たな生ごみ処理容器（キエーロ、ミラコンポ）のあっせん販売を開始する。 平成26・27年度限定で拡充した電動生ごみ処理機購入費補助制度の方向性を検討する。
③ 平成28年度に着手する事項
新たな減量化策の普及に向けた啓発方法の検討を行う。

#### 6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日	平成28年2月24日
-----	------------

生ごみ処理容器あっせん制度、電動生ごみ処理機購入費補助制度など様々な減量化・資源化の手段を町民へ紹介するため、ホームページの充実を図る。 また、新たな減量化策の普及に向けた啓発方法の検討を行う。
--